

ノヤマ通信

vol.24 (2024.水無月)



森のようちえんヒュッテ

【5月の活動記録：2日山の基地、9日たこやき島、13日桂川溪谷、16日明石寺、23日どんぐり王国、30日山の基地】



▲しば餅(かしわ餅)づくりで大活躍したかまど&蒸し器は大洲市のサカイさんから寄贈いただいたもの。大切に使用させていただきます🙏!

●活動を見つめるコラム

「みんなでごはんをつくる」

5月はみんなで、ニョッキや手打ちうどん、しば餅などを作りました。クッキングについては、できるだけ季節や旬を考え、地元の素材を使うことを意識しています。また、なるべくゴミを出さずに調理をしたいので、火を起こすことも大切な役割です(カセットボンベはゴミになってしまうので)。

子どもたちと一緒に料理をするということは、時に私たちに忍耐を要求してきます。危なっかしかったり、時間の余裕が無かったり😓。日々の生活の中では、料理をする体験の機会をなかなか確保できなかったりするので、時にひやひやしつつも、複数の大人で子どもたちを見守りながら調理できる機会は、とても貴重ななあと感じています。

便利な世の中になり、料理はますます「自分でやらなくていい家事」になっていくのかもしれませんが、でも、料理ができれば、自分の体調の移り変わりや生活の変化に合わせて、自分を労り、時に励まし、養っていける...「生きる力」になります。山の基地でも少しずつ畑の手入れをしながら、食への興味関心が育つ場として充実させていけたらいいなあと考えています。そしてクッキングが、普段お弁当を作って下さっている保護者のみなさんにとっても、ちょっと一息つける時間になれば🙏(ち)



▲5/16森のようちえん@明石寺

👤👤 山の基地

【5月の活動記録：5日、7日、8日、15日、17日、21日、22日日常管理、6日開放日⇒雨天中止、26日開放日】

●26日の開放日に、土の中にすむ微生物の働きを活かした生ごみ処理器「キエー口」を自作して基地に設置しました。使い方は簡単。枠内の土に20cmくらいの深さの穴を掘り、生ごみを投入。水を加えて土と生ごみをかきまぜ、最後に乾いた土をかけて埋めればOKです。基地で調理をしたときに出る生ごみは、今後すべてここで処理していきます😊。



●ミニトマトやカボチャ、フェネル、ゴマ、シソなどをあちこちに植えました。初めて育てるものもありますが、無事に育って収穫できますように!



●アシナガバチの巣に注意

6月に入り、アシナガバチの巣が基地内でいくつか見つかっています。今の時期は女王バチが一匹で巣をつくっていて、攻撃性は高くないのですが、巣を見つけたら人が近づかない場所に移動させたいと思いますので教えてください。



✿✿ その他の活動

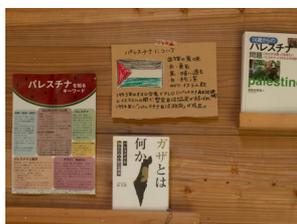
●森のようちえんのお母さんたちがイベントを開催(5/19)

森のようちえんヒュッテに通う有志のお母さんたちが企画したイベント「パレスチナ料理をつくろう～平和を願うごはんの会～」が、山の基地で開催されました。

お母さんたちによる朗読劇の後、みんなでごはん作り。パレスチナで食べられているじゃがいもを使った料理（バタータ）や小麦粉とオリーブオイルをこねてつくるザータルマナーキーシュを子どもたちと一緒に作って食べました。お昼ごはんを食べた後は、山の基地にある自然物を使って、みんなでパレスチナの国旗づくり。いろいろな表情の国旗ができました。国旗をつくりながら、参加者同士でイベントへの率直な感想のやりとりができたのも、とてもよい時間でした。

イベントだけで全てを知ったり伝えたりすることは難しいですが、戦争をなくしていくために生活の中でできることを、子どもたちと一緒に見つけていくきっかけになるといいと思います。

耕作放棄地をお借りして、コツコツ手入れをしてきた場所がこうした形で活用してもらえて、私たちもとてもうれしかったです。



いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。

ノコギリクワガタ

基地の入り口にある大きな岩の上で、子どもたちが積みもった土を掘り返していたら発見しました。オスの大あごは、体が大きくなると湾曲して、立派な見た目になります。(5/19山の基地)



よもやま話

●ある日、小1の次女が宿題をしながら困っていました。ひらがなの練習をしていたので、字がうまく書けなくて困っているのかと思ったら、書けたらさし絵に色を塗る、というお楽しみの部分に引っかかっていた😓。「お風呂の水は透明やけん、何色で塗ったらいいかわからん」と。

「水色にしたら？」と言うと、「お風呂の水は水色じゃない」と言います。(←よく見てる👍!) 「バスボム(入浴剤)を入れたら、青とか黄色とかいろんな色になるから、好きな色で塗ったら？」と言っても納得しません。「透明で塗りたい」と言うのです。

少し考えて、「2人で一緒にお風呂に入っているときのことを思い出そうや」と提案。「お風呂の水をためるバスタブの色は何色?」「銀色!」「パパの体の色は?」「はだ色!」「髪の毛は?」「黒! パパは体にも毛があるんで。ぐふふ」と簡単なやりとりをした上で、「お風呂の水は透明なんよね?じゃあ、透明ってどういうこと?」と問いかけました。

2人で確認しあったのは、お風呂の水に浸かって自分の体やバスタブの色が見えるよね、ということ。つまり透明っていうのは、物が透けて見えるってこと。じゃあ、透明という色を塗るって考えるんじゃないくて、お風呂に入っている人の体やバスタブが見えるように水の部分を塗ったらいいんじゃない?—そういうことで、一応納得して、ぬり絵は完成しました。

いつもこんな風に関わって子どもと一緒に考えることは難しいですが、そういう練習を森のようちえんではしてきた気がします😊。(ゆ)



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

noyama.company@gmail.com